

令和6年6月26日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）教育県広島の実現に向けた取組について

これからの広島県を担っていく子供たちが、自身の「能力」と「可能性」を最大限引き出し、夢や希望に向かって挑戦できる人財となるよう、「教育県広島」の実現に向けて、教育を取り巻く喫緊の課題にどのように取り組み、教育行政を進めていくのか、その決意を教育長に伺う。

（答）

変化の激しい現在の社会において、子供たちが、平和で民主的な社会の形成者として必要な資質・能力を身に付けるためには、生きて働く知識・技能の習得と同時に、自ら課題を発見し、主体的に考え、他者と協働しながら解決していく力の育成が必要であり、本県では、「主体的・対話的で深い学び」を促す「学びの変革」を進めております。

また、全国的な課題ではあるものの、不登校児童生徒への支援、質の高い教師確保のための環境整備などの取組が急務となっているほか、教職員による不祥事の根絶に向けて取り組むことが喫緊の課題であると認識しております。

このため、私は、「学びの変革」の深化に向けて、一人1台端末の効果的な活用を進め、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるカリキュラム・授業づくりと、教師の指導力の向上に取り組んでまいります。

また、不登校により学びにアクセスできない児童生徒ゼロを目指し、スペシャルサポートルームの設置・充実を更に推進するとともに、SCHOOL“S”の取組で得た知見も活用して市町の教育支援センター等とのネットワークを構築するなど、不登校児童生徒への支援の一層の充実を図ってまいります。

さらに、質の高い教師の確保のため、大学などと連携した人材養成の取組の外、子供たちの成長を支える教職員が持てる力を最大限発揮できるような環境整備や、学校の働き方改革を進めてまいります。

そして何より、教職員による不祥事は、あってはならないことから、相次ぐ不祥事を受け、先月、その根絶に向けた「緊急メッセージ」を発出したところであり、「教育」という崇高な使命を改めて自覚し、県民の皆様の信頼と

負託を決して裏切ることのないよう、不祥事根絶に向けた取組を着実に進めてまいります。

これらの喫緊の課題への対応を始め、私は、全ての子供たちの健やかな成長のため、現場からの声に耳を傾けて、学校・地域のつながりを大切にし、関係する皆様と協働して、風通しの良い「教育県広島」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。